

# 統計調査ニュース

No.356

平成28年(2016)7月



## 平成28年社会生活基本調査について

東京大学社会科学研究所教授 玄田 有史

今、日本国民は、日々どんな生活を営んでいるのでしょうか。

社会生活基本調査は、そんな疑問に答えるため、昭和51年(1976年)以来、5年ごとに行われている調査です。調査は、1日の生活時間の配分及び1年間の主な生活行動を調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的としています。今年平成28年10月に実施される調査が、9回目にあたります。

今回も全国の約20万人に調査にご協力いただく予定とうかがっています。調査では、指定された連続2日間について生活時間の配分を記録していただきます。また前回と同様に、1年間の主な生活行動として、学習・自己啓発・訓練、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽について、詳細な設問に回答をお寄せいただきます。

総務省統計局のホームページに

は、高齢者の暮らし方、ボランティア活動の状況、仕事や育児に費やす時間の配分、旅行や行楽の頻度など、これまでの調査から明らかとなっているたくさんの事実が紹介されています。ご興味のある方は、ぜひともご覧ください。

人々の生活は、時代の状況によって刻々と変化していくものです。社会生活基本調査でも、そんな生活の変化を正しく把握するために、毎回調査事項の見直しなどを柔軟に行っています。平成28年調査では、今や多くの人の生活にとって欠かせないスマートフォンなどの情報通信機器の使用に関する調査事項が新たに追加されました。調査からはスマートフォンの普及が生活行動や生活時間に与えている影響などが、明らかにされることでしょう。

さらには男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの実態的確な把握を狙いとして、子どもの

保育園などの在園状況についても調査されます。子どもを預けている時間と親の働き方の関係などを明らかにしながら、個々の家族の実情に沿ったきめ細かい保育サービスの充実に役立ててほしいものです。その他、少子高齢化などの社会経済状況の変化に対応するため、健康状態の把握範囲を広げたり、介護の手助けの利用頻度なども調べられます。

社会生活基本調査に限りませんが、統計調査は、国民のみなさんが調査の重要性をよく理解していただき、ご協力いただくことによってはじめて可能となります。お寄せいただいた情報は、プライバシーに十分配慮しながら、政策の立案や学術研究に大切に活用されていくこととなります。調査にかかわるすべてのみなさまのご尽力に心より敬意を申し上げます。

### 目次

平成28年社会生活基本調査について..... 1	平成26年経済センサス-基礎調査 親会社と子会社の名寄せによる集計(我が国の企業グループの状況)..... 7
平成28年社会生活基本調査広報用ポスター等のデザインの決定/統計を活用した優れた取組を表彰!-「地方公共団体における統計活用表彰」の実施について-..... 2	統計研修生募集の案内 -平成28年度第3四半期(平成28年10~12月)-..... 8
~平成28年度「統計の日」標語の決定~..... 3	日本人口学会第68回大会に参加して..... 9
平成28年経済センサス-活動調査 広報活動報告(その2)..... 4	統計におけるオープンデータの利活用を推進するため自治体総合フェア2016に出展しました! /統計資料館からのお知らせ-企画コーナーの御紹介-..... 10
サービス産業動向調査 平成27年結果(確報)の概要..... 6	中核市発とうけい通信㊼..... 11

# 平成28年社会生活基本調査広報用ポスター等のデザインの決定

本年10月20日現在で、平成28年社会生活基本調査を実施します。この調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動を調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。本号では、平成28年調査の広報用ポスターを御紹介します。

## ○ 広報用ポスターの決定

平成28年社会生活基本調査の広報用ポスターは、オレンジ色の濃淡によりデザインされた「社会生活基本調査」の文字が目を引き、明るく爽やかなデザインに決定しました。

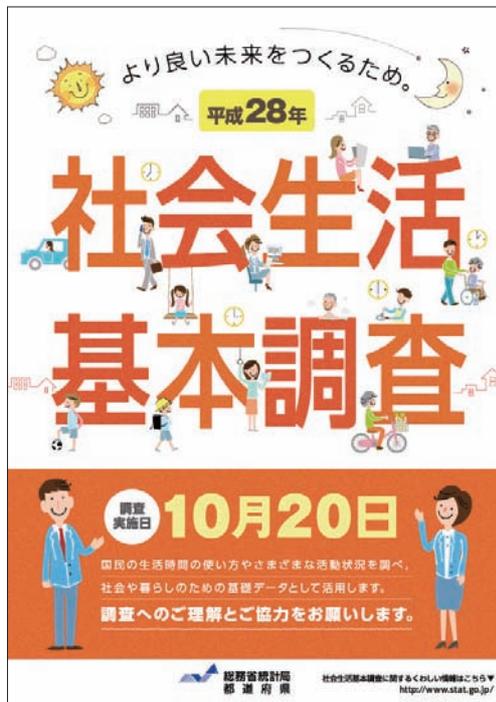
## ○ デザインについて

調査名の周りに、子供からお年寄りまで、様々な人の日常生活のイラストを組み合わせることで、どういった調査なのかということが視覚的に伝わるように表現しています。

「社会生活基本調査」の文字は、柔らかい印象のタッチで親しみやすさを演出し、楽しく調査に協力できるイメージを与えています。また、お年寄りにも読みやすいユニバーサルデザインのフォントを使用することによって、誰にでも見やすいデザインとなっています。

## ○ 他の広報用品への展開

広報の相乗効果を上げるため、広報用ガイドブック（調査のはなし）、周知用リーフレット、準備調査用リーフレットなどにも、この広報用ポスターと統一的な図案を使用し、色やイラストに変化を加えながら展開します。このほか、インターネット回答の操作ガイドにも本デザインを活用し、インターネット回答の促進を図ることとしています。



## 統計を活用した優れた取組を表彰！

### —「地方公共団体における統計活用表彰」の実施について—

総務省では、今年度から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、統計を活用した優れた取組を進める市区町村に対する表彰「地方公共団体における統計活用表彰」を新たに創設する予定です。御紹介します。

本表彰では、市区町村における、公的統計データを活用した行政サービスの改善や行政施策の立案、その他統計データの利活用の推進に資する取組を対象とする予定です。

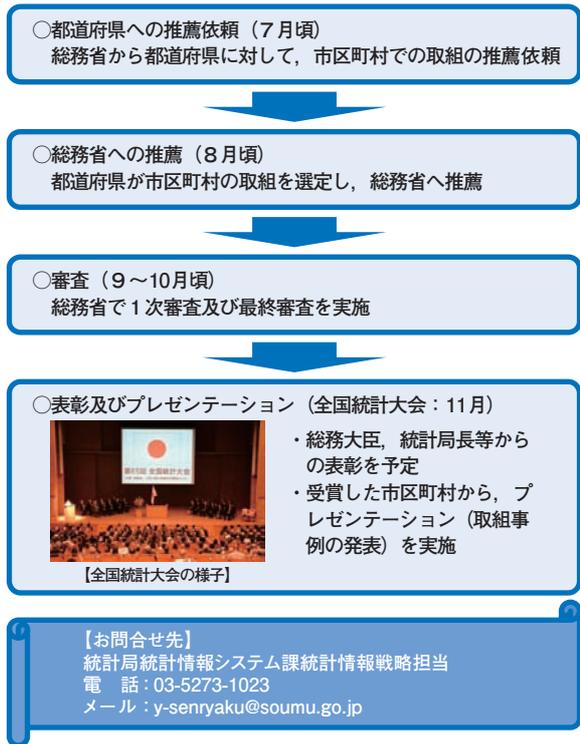
#### 【対象となる取組の事例】

- 各種統計調査の分析結果を活用した施策の立案
- RESAS（地域経済分析システム）を活用した観光戦略や産業振興策等の立案
- 統計GISや地域メッシュ統計を活用した防災計画の策定
- 「地域の産業・雇用創造チャート」を活用した地方版総合戦略の策定
- 統計APIを活用したアプリケーションの提供
- インフォグラフィックを活用した広報の実施
- 統計データ利活用促進のための人材育成 等

7月から都道府県への推薦依頼等を進め、11月の全国統計大会にて表彰を行います。

初めての表彰となりますので、地方公共団体の皆様、御協力いただきますようお願いいたします。

#### 表彰までの流れ



## ～平成28年度「統計の日」標語の決定～

総務省政策統括官(統計基準担当)室では、統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対する国民の皆様のより一層の御協力を頂けるようにと定めた「統計の日」(10月18日。昭和48年7月3日閣議了解)の周知を図るため、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語を募集しています。

今年は、2月1日(月)から3月31日(木)にかけて募集を行ったところ、10,404作品の応募を頂きました。

### 【応募数】

総数	10,404点
うち 小学生の部	717点
中学生の部	1,932点
高校生の部	1,958点
一般の部	2,039点
統計調査員の部	2,074点
公務員の部	1,684点

これらの応募作品について数次にわたる審査の結果、最終審査の各府省統計主管部局長等会議において、茨城県常陸太田市立太田中学校 塩谷 泰成さんの作品『統計の 確かな情報 大きな安心』を特選としたほか、併せて5名の方の作品を佳作として決定いたしました。

特選に選ばれた塩谷さんの作品については、「統計の日」ポスターに使用されます。ポスターは、国の行政機関、都道府県、市区町村、公立の小中学校及び高等学校等に配布されるなど、全国で掲示されます。

各府省、各都道府県におかれましては、特選及び佳作の作品について、各広報資料、封筒及びファックス送信票への印字など、積極的に幅広く御活用いただきますようお願いいたします。

その他、「統計の日」標語についての詳細は、総務省ホームページ([http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01toukatsu01\\_02000092.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukatsu01_02000092.html))にて紹介していますので、是非御覧ください。

### 【特選】

◎中学生の部

『統計の 確かな情報 大きな安心』

塩谷 泰成さん(茨城県常陸太田市立太田中学校2年)

### 【佳作】

◎小学生の部

『統計で 学んで知って 未来で活かそう』

松田 怜奈さん(岐阜県関市立下有知小学校5年)

◎高校生の部

『統計は 時代をかける 伝言板』

中村 優美さん(山梨県立山梨高等学校2年)

◎一般の部

『統計で ひと・もの・暮らし 見えてくる』

矢沢 秀子さん(新潟県長岡市)

◎統計調査員の部

『統計は 小さな声の 集大成』

馬田 信子さん(岐阜県 岐阜市統計調査員)

◎公務員の部

『積み上げた 数字が示す 道しるべ』

(都道府県職員)

(学年は平成28年6月現在)

経済センサス  
活動調査

# 平成28年経済センサス - 活動調査 広報活動報告（その2）



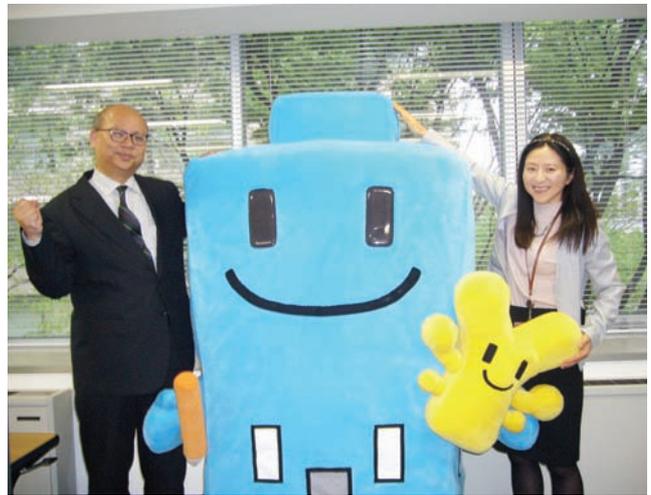
本年6月1日を調査日として、平成28年経済センサス - 活動調査を実施しています。  
6月号では、ポスター、CM、記者発表会などについて紹介しましたが、本号では、「ビルくんとケイちゃん」のご当地紀行と国が作製した広報用素材を紹介します。

## 「ビルくんとケイちゃん」ご当地紀行

○経済センサスキャラクター「ビルくんとケイちゃん」が全国各地を訪問、活動調査をPR



▲青森テレビの「みんなの県庁！」に出演



△東京商工会議所を訪問



▲東京都庁展望台のイベントにて



△岡山市下之町商店街のイベントにて

## 交通広告

○札幌, 東京, 名古屋, 大阪, 福岡等のJR主要駅のデジタルビジョンにテレビCMに連動した内容を放映



▲JR大阪駅御堂筋口



△JR博多駅いっぴん通り前

## 地方新聞×各商工会議所

○全国の商工会議所と地方紙37紙の連携による地元密着記事の掲載



## クリアファイル

○調査の周知を目的に作製



## 「ビルくんとケイちゃん」パネル

○イベント用に都道府県分のパネルを作製



## 広報用タスキ

○渋谷駅前の「忠犬ハチ公」用のタスキを作製



# サービス産業動向調査 平成27年結果（確報）の概要

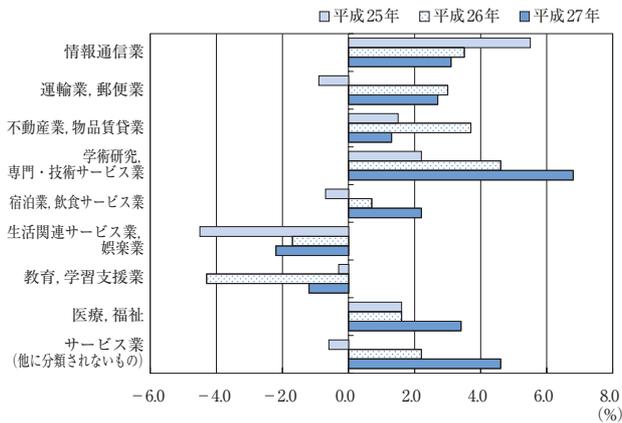
サービス産業動向調査は、全国のサービス産業（第3次産業）の事業活動を行っている事務所・店舗・施設等を対象として実施している調査です。この調査は、サービス産業全体の生産と雇用の動向を把握し、GDPの四半期速報（QE）を始めとする各種経済指標の精度向上に資することを目的としています。この度、平成27年結果（確報）を平成28年5月31日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 1 1か月当たり平均売上高

平成27年のサービス産業の1か月当たり平均売上高は、28兆9492億円となり、前年と比べ2.4%の増加となりました。

産業大分類別に前年と比べると、「学術研究，専門・技術サービス業」（前年比6.8%増）、「サービス業（他に分類されないもの）」（同4.6%増）など7産業で増加となる一方、「生活関連サービス業，娯楽業」（同2.2%減）、「教育，学習支援業」（同1.2%減）で減少となりました。（図1）

図1 産業大分類別1か月当たり平均売上高の前年比

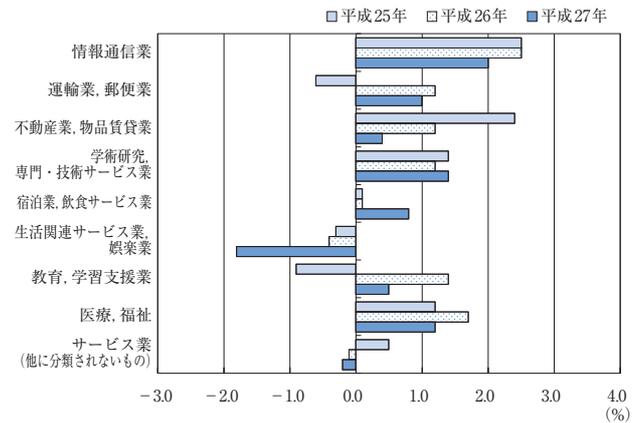


## 2 年平均従事者数

平成27年のサービス産業の年平均従事者数は、2858万人となり、前年と比べ0.6%の増加となりました。

産業大分類別に前年と比べると、「情報通信業」（前年比2.0%増）、「学術研究，専門・技術サービス業」（同1.4%増）など7産業で増加となる一方、「生活関連サービス業，娯楽業」（同1.8%減）、「サービス業（他に分類されないもの）」（同0.2%減）で減少となりました。（図2）

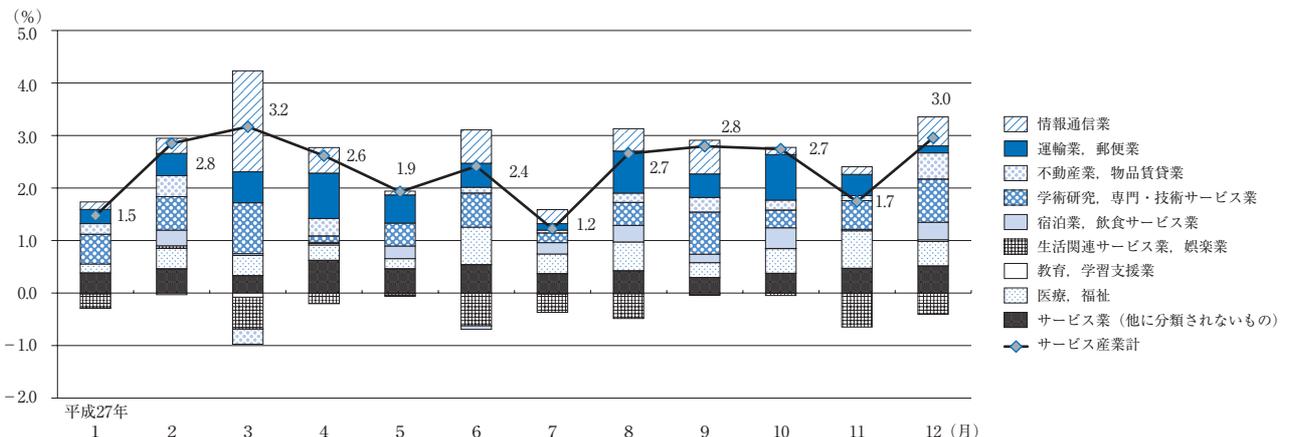
図2 産業大分類別年平均従事者数の前年比



## 3 月間売上高の推移

平成27年の売上高を月別にみると、サービス産業計は全ての月で前年同月を上回る水準で推移し、3月に増加幅が拡大しました。これは、「情報通信業」、「学術研究，専門・技術サービス業」の増加の寄与が大きかったことなどによります。また、年間を通して「情報通信業」、「学術研究，専門・技術サービス業」などが増加に寄与しました。（図3）

図3 サービス産業計の月間売上高の前年同月比及び寄与度の推移



# 平成26年経済センサス - 基礎調査 親会社と子会社の名寄せによる集計 (我が国の企業グループの状況)

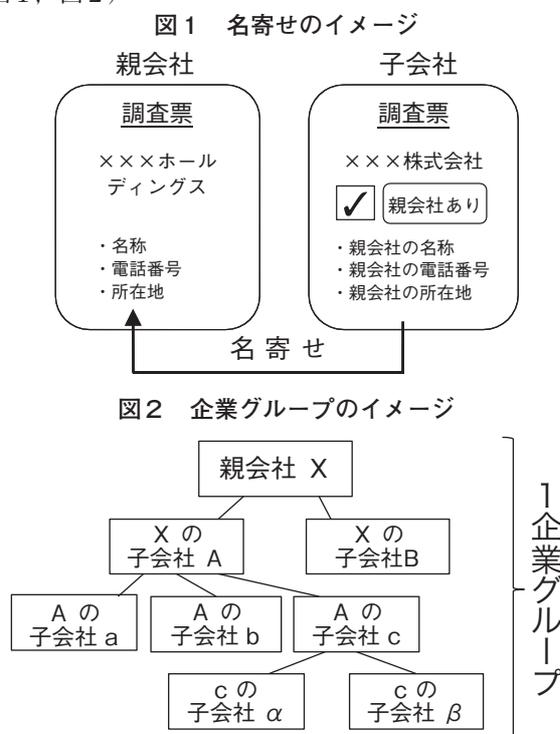
平成26年経済センサス - 基礎調査は、事業所及び企業の経済活動の状態を調査し、全ての産業分野における事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を全国的及び地域別に明らかにするとともに、各種統計調査実施のための事業所及び企業の名簿を得ることを目的としています。

この度、親会社と子会社の名寄せによる集計結果を平成28年4月22日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 親会社と子会社の名寄せとは

親会社と子会社の名寄せによる集計は、国内における企業グループの状況を把握することを目的として、会社企業のデータについて、親会社の会社情報と子会社の親会社情報とで名寄せを行い、国内において親会社と子会社の関係にある会社企業を結びつけて集計したものです。

(図1, 図2)



## 1 企業グループ

平成26年7月1日現在の我が国の企業グループ数は2万3千となっています。また、この企業グループに属する会社企業数は8万企業、事業所数は60万8千事業所、従業者数は1817万4千人となっており、会社企業全体に占める割合は、それぞれ4.6%、21.0%、43.1%となっています。(表1)

表1 企業グループに属する会社企業数、事業所数及び従業者数

	企業グループ数	会社企業数	事業所数	従業者数
会社企業全体		1,750,071	2,899,206	42,196,964
企業グループ	23,159	79,653	608,232	18,173,616
会社企業全体に占める割合(%)		4.6	21.0	43.1

## 2 子会社

企業グループ内の子会社について規模別にみると、子会社数「1～4社」の企業グループの割合が91.9%と最も高く、次いで「5～9社」が4.9%、「10～19社」が1.8%などとなっており、子会社数規模が大きくなるほど企業グループの割合は低くなっています。また、子会社数「50社以上」の企業グループの割合は全体の0.3%ですが、当該企業グループに属する会社の割合はいずれかの企業グループに属する会社全体の12.7%となっています。(表2)

表2 子会社数規模別企業グループ数及び子会社数

子会社数規模	企業グループ数	構成比(%)	子会社数	構成比(%)
総数	23,159	100.0	56,494	100.0
1～4社	21,292	91.9	29,504	52.2
5～9社	1,130	4.9	7,146	12.6
10～19社	425	1.8	5,689	10.1
20～29社	127	0.5	3,046	5.4
30～49社	105	0.5	3,926	6.9
50社以上	80	0.3	7,183	12.7

## 3 従業者

企業グループ内の常用雇用者について規模別にみると、常用雇用者「0～999人」の企業グループの割合が全体の9割を占めています。また、常用雇用者「10,000人以上」の企業グループの割合は全体の1.3%ですが、当該企業グループに属する従業者の割合はいずれかの企業グループに属する従業者全体の半分以上を占めています。(表3)

表3 企業グループの常用雇用者規模別企業グループ数及び従業者数

企業グループの常用雇用者規模	企業グループ数	構成比(%)	従業者数	構成比(%)
総数	23,159	100.0	18,173,616	100.0
0～999人	21,063	90.9	3,492,283	19.2
1,000～1,999人	877	3.8	1,307,353	7.2
2,000～4,999人	653	2.8	2,084,164	11.5
5,000～9,999人	275	1.2	2,035,516	11.2
10,000人以上	291	1.3	9,254,300	50.9

(注) 常用雇用者とは期間を定めずに雇用されている人をいい、従業者のうち「正社員・正職員」及び「正社員・正職員以外」を合算した人数です。

※統計表については、平成26年経済センサス - 基礎調査「調査の結果」のページを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/2014/kekka.htm>

# ▶▶▶ 統計研修生募集の案内 ◀◀◀

## — 平成28年度第3四半期（平成28年10～12月） —

統計研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象として、統計研修生を募集します。今回の募集に係る研修内容等の詳細については、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又は統計研修所のホームページを御覧ください。【<http://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.htm>】

### ◇ 特別コース「1日で学ぶ標本設計」

《1日》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 標本設計の考え方、標本抽出の手法、標本誤差
- ▶ 研修日 平成28年10月4日（火）
- ▶ 応募締切 平成28年8月22日（月）

### ◇ 統計専門課程「産業関連表の作成」

《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 産業関連表作成の仕組み、地域産業関連表作成の方法と演習 など
- ▶ 研修期間 平成28年10月6日（木）～10月7日（金）
- ▶ 応募締切 平成28年8月22日（月）

### ◇ 統計入門課程 通信研修「入門1スクーリング」

《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 通信研修「入門1」を終了した方を対象スクーリングで通信研修の疑問点などを解決し、より理解を深める
- ▶ 研修期間 平成28年10月12日（水）～10月13日（木）
- ▶ 応募締切 平成28年8月22日（月）
- ▶ 研修科目 統計総論、統計データ利用入門、統計調査入門

### ◇ 統計専門課程「政策と統計」

《4日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 政策立案、行政評価に必要な統計の知識・理論を学ぶアンケートの調査・集計・解析を演習する
- ▶ 研修期間 平成28年10月25日（火）～10月28日（金）
- ▶ 応募締切 平成28年8月22日（月）
- ▶ 研修科目 政策形成における統計の役割、政策に生かす統計、行政評価と統計、解析・演習

### ◆ 統計専門課程「国民・県民経済計算（11月）」

《5日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 国民経済計算・県民経済計算の推計方法と分析手法を学ぶ
- ▶ 研修期間 平成28年11月7日（月）～11月11日（金）
- ▶ 応募締切 平成28年9月23日（金）
- ▶ 研修科目 国民・県民経済計算の意義・役割、国民経済計算の概要、県民経済計算の概要、国民・県民経済計算を用いた回帰モデル・経済モデル

### ■ 統計専門課程「マイクロデータ分析(Rによる統計解析)」

《4日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 ミクロデータの分析のための知識と技術を学ぶ、疑似マイクロデータを用いた演習
- ▶ 研修期間 平成28年11月15日（火）～11月18日（金）
- ▶ 応募締切 平成28年9月23日（金）

### ◇ 統計入門課程 通信研修「入門2（12月）」

《15日間》【募集人数 70名】

- ▶ 研修概要 「入門1」の上位版で、「統計分析」、「推測統計」の初歩を学ぶ
  - ▶ 研修期間 平成28年12月1日（木）～12月21日（水）
  - ▶ 応募締切 平成28年10月21日（金）
  - ▶ 研修科目 統計分析入門、推測統計入門
- ※ 職場のPCを使用した「通信研修」です。

◇印は、PCの基本的な操作に加え、Excelで四則演算や関数などができる職員を対象とした課程

◆印は、Excelで関数やピボットテーブルなどの操作に慣れている職員を対象とした課程

■印は、プログラミング又は統計解析ソフトのスク립トの作成経験のある職員

#### 〈お問合せ先〉

統計研修所企画課企画係  
TEL 042-320-5874  
FAX 042-320-5825  
E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

# 日本人口学会第68回大会に参加して

平成 28 年 6 月 11 日 (土) から 6 月 12 日 (日) にかけて、麗澤大学 (千葉県柏市) において、日本人口学会第 68 回大会が開催されましたので、その概要を紹介します。

日本人口学会は、人口に関する科学的な調査研究を推進し、関連研究者の相互交流を図り、人口学の発展に寄与することを目的として、1948年に創設された歴史ある学会です。本学会には、人口学の基礎理論や関連する各分野の研究者、人口統計に関連する官庁や企業の実務家などが加入しており、日本人口学会大会、研究報告会の開催などの事業を行っています。

今大会では公開シンポジウム 1 件、企画セッション 4 件、テーマセッション 2 件及び自由論題 14 件が開催され、全国の大学、研究機関、企業及び官公庁などの参加により、多数の発表が行われました。

大会の構成は以下のとおりです。

## ○公開シンポジウム

人口政策の成り立ちを考える～Linking Past to Present～ (日本人口学会・麗澤大学共催)

## ○企画セッション

- ①地域特性や個別環境による出生率格差を考える
- ②Marriage and Family Building in Historical East Asia (英文発表)
- ③未婚者の現在と将来
- ④セクシュアル・マイノリティに関する人口学的研究  
－日本における研究動向の今－

## ○テーマセッション

- ①持続可能な開発目標 (SDGs) と人口開発問題のゆくえ
- ②Marriage and Family Building in Contemporary East Asia (英文発表)

## ○自由論題

- A-1：結婚 1 A-2：結婚 2  
 B-1：人口移動 1 B-2：人口移動 2  
 C-1：少子化対策と人口政策  
 C-2：Vital Events and Dynamics of Population in Asia  
 (英文発表)  
 D-1：地域社会 D-2：高齢化  
 E-1：死亡 E-2：生命表  
 F-1：妊娠と出生 F-2：地域と出生  
 G-1：人口統計 G-2：経済と人口

統計局、政策統括官 (統計基準担当)、統計研修所及び (独) 統計センターは、本学会に団体会員として加入し、大会において研究成果の発表や統計行政への取組の紹介を行うなど、積極的に参加しています。

今大会では、自由論題において以下の 3 本の発表を行いました。

- 自由論題 A-2：結婚 2  
 ○親と同居の壮年未婚者の最近の状況  
 西 文彦 (統計研修所)
- 自由論題 G-1：人口統計  
 ○平成 27 年国勢調査の実施状況－世界最大規模のオンライン調査の実施－  
 高野 義幸 (統計局)
- 自由論題 G-2：経済と人口  
 ○家計の収支動向と出生率への影響  
 伊原 一 ((独) 統計センター)



大会発表の様子



大会参加者 (会場にて)

## 統計におけるオープンデータの利活用を推進するため 自治体総合フェア2016に出展しました！

総務省統計局及び独立行政法人統計センターでは、政府で取り組むオープンデータの推進をリードするとともに、官民における統計データの利活用の高度化を促進し、新たな付加価値を創造するサービスや革新的な事業の創出などを支援する取組を進めてきたところです。

統計局では、平成28年5月18日（水）～20日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催された「自治体総合フェア2016」にブースを出展し、「政府統計の総合窓口（e-Stat）」を始め、「API機能」や「地図による小地域分析（jSTAT MAP）」などの普及を促進するため、広報活動を行いました。

自治体総合フェアは、自治体経営の革新を推進するとともに、地域住民が真に豊かさを実感できる魅力ある地域社会の実現を図ることを目的として、毎年開催されています。会場内はICT・地域情報化エリア、災害対策・危機管理エリアなどの幾つかのエリアに分かれ、セミナーも開催されました。このフェアでブースの出展を行ったのは政府機関だけでなく、都道府県や市町村の各自治体を始め、関連する民間企業等からも多数の出展があり、来場者は3日間で、1万人を超えました。

統計局が出展したブースでは、インターネットに接続できるパソコンを用いて、実際に「地図による小地域分析（jSTAT MAP）」を操作し、その機能を紹介するデモ

ンストレーションを行ったり、タブレット端末を活用した「アプリ De 統計」や「マップ De 統計」の紹介や、パンフレットを配布するなどの広報活動を行いました。3日間共に国・自治体職員、民間開発業者、学生など大勢の方がブースを訪れ、熱心にデモンストレーションを御覧になるとともに、「すごい機能ですね。」「もっと早く知りたかった。」など、好評の声を数多くいただきました。

統計局は毎年、自治体総合フェアに出展していますが、このほかにも、講演や執筆などの活動も通じて、統計におけるオープンデータの利活用を積極的に推進していきます。



ブースの様子

## 統計資料館からのお知らせ—企画コーナーの御紹介—

統計資料館は、平成3年10月18日（統計の日）に、政府統計制度創設120年を記念して開設されました。

館内の「日本地図でみる統計データ」コーナーでは、タッチパネルを用いて都道府県の統計に関するクイズが楽しめます。大人から子供まで人気を博しています。

このほか、大正9年の第1回国勢調査のポスター等、統計の歴史が学べる貴重な資料を展示していますので、是非御来館ください。

**所在地** 東京都新宿区若松町19-1  
総務省第二庁舎敷地内  
**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで  
【入館無料】  
**休館日** 土曜日、日曜日、国民の祝日・休日及び  
年末年始  
**電話** 03-5273-1187

※団体で見学される場合は、事前に下記まで御連絡ください。

【統計局統計情報システム課統計情報戦略担当】

電話 03-5273-1023

統計資料館

検索

メール y-senryaku@soumu.go.jp

<http://www.stat.go.jp/library/shiryu.htm>

<https://www.youtube.com/watch?v=C4zTRDT0eN8>



【統計資料館ポスター】

## 中核市発とうけい通信 23

## 「WE LOVE とよた」



## 豊田市総務部庶務課

## 1 豊田市の歴史

明治から大正にかけて、豊田市の前身である挙母町は「三河地方有数のマユの集散地」として養蚕・製糸業を中心に発展してきました。しかし、昭和に入ると国内・外の生糸の需要は急速に陰りを見せ始め、挙母町もその影響を受けました。この頃、豊田自動織機製作所が新しく自動車部を設置するという動きを捉えた挙母町は、積極的に誘致を行いました。昭和 13 年にトヨタ自動車工業株式会社（現トヨタ自動車株式会社）の挙母工場が論地ヶ原（現トヨタ町）の丘陵地に完成し、「クルマのまち」としての第一歩を踏み出しました。昭和 26 年 3 月に挙母市として市制施行以来、「工場誘致奨励条例」の制定などの積極的な施策を展開し、全国有数の工業都市として発展してきました。自動車産業が本格的に軌道に乗り始めた昭和 34 年 1 月、自動車産業とともに発展することを誓って市名を「豊田市」に変更しました。

以後、隣接する町村との合併が進み、平成 10 年には中核市に移行、平成 17 年 4 月 1 日には近隣 6 町村と合併を果たし、人口約 42 万人、面積は約 918 平方キロメートルの新生豊田市として新たなスタートを切りました。

これにより豊田市は、愛知県下で面積は最大、人口は名古屋市に次いで 2 番目となりました。

## 2 WE LOVE とよた

現在の豊田市は、自動車産業のまちとして有名ですが、その一方で美しい自然や大規模なイベント、充実したスポーツ施設などの豊富な地域資源を持つまちでもあります。本市では、市民が率先してこれらの地域資源を愛し、消費し楽しむことが、重要であると考え、「WE LOVE とよた」を合言葉に「地域資源の地産地消」を推進しています。

以下に豊田市の魅力の一部を御紹介します。

## (1) とよたの工業

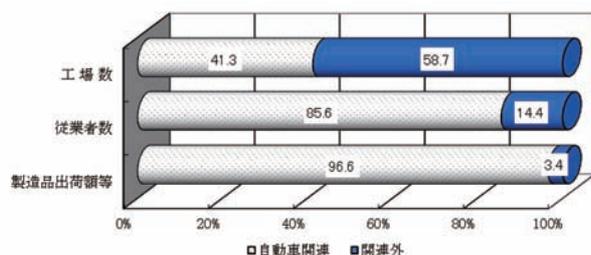
豊田市には、859 の工場があり、そのうちの 41.3% は自動車関連工場です。そこで働く従業者数は 89,209 人で、これは市内の全工場で働く従業者数の 85.6% にも達しています。

また、製造品出荷額等は 12 兆 7068 億円で愛知県はもちろん全国でも第 1 位です。その中でも自動車関連工業は 12 兆 2797 億円で全体の 96.6% を占めています。

これらのことから、豊田市がいかに自動車産業を中心とした工業都市であるかが分かります。

(平成 25 年工業統計調査 豊田市独自集計結果)

主要項目の自動車関連比



## (2) とよたの自然

当市は市域のおよそ 7 割を森林が占めており、四季折々

に彩られる自然を堪能することができます。

中でも「香嵐溪」は日本有数の紅葉の名所で、年間約 80 万人もの観光客が訪れる人気スポットです。

毎年 11 月には、約 4,000 本のもみじが、秋の澄んだ空の下で溪谷全体を赤く染めます。夜間にはライトアップも実施しており、日中とは異なる幻想的な景観を楽しむことができます。



香嵐溪

## (3) とよたのスポーツ

豊田市は、球技専用競技場としては国内最大級の規模を誇る「豊田スタジアム」を有しています。

収容人数は 45,000 人で、Jリーグ名古屋グランパスのホームスタジアムにもなっています。グランパスのホームゲームが開催される週末には、スタジアム全体がサポーター達の熱い声援に包まれます。

また、2019 年には、世界 3 大スポーツイベントの 1 つといわれるラグビーワールドカップが日本で開催されます。アジアでは初の開催となる記念すべき大会において、この豊田スタジアムも試合会場の 1 つに選ばれています。



©JRFU 2015, photo by H.Nagaoka

ラグビーワールドカップ (2015 年)

## (4) とよたのイベント

市内では年間を通じて数多くのイベントが開催されますが、中でも最も熱気あふれるイベントが「豊田おいでんまつり」です。

豊田おいでんまつりは、市民が「踊り連」というグループを編成し、会場周辺を周回しながら踊る市民参加型の祭りです。それぞれの踊り連が、思い思いの衣装に工夫を凝らし、ロックのリズムの曲に合わせて、ディスコ調や民謡調で踊ります。

また、祭りの最終日には約 1 万 5 千発という大量の花火が打ち上げられ、夏の夜空を飾ります。

ここに挙げたもの以外にも、多くの見どころが豊田市にはあります。是非一度お越しいただき、このまちの魅力を実感していただけると幸いです。

# 最近の数字

		人口		労働・賃金			産業			家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
		千人(Pは万人)	万人								%	円	H22=100
実数	H28. 1	127,043	6399	3.2	299,426	98.3	26.8	280,973	355,700	103.0	101.3		
	2	P12681	6351	3.3	292,182	93.2	P27.3	269,774	394,411	103.2	101.7		
	3	P12692	6339	3.2	313,419	96.7	P35.6	300,889	369,306	103.3	102.0		
	4	P12698	6396	3.2	305,460	97.2	P27.6	298,520	388,135	103.4	102.0		
	5	P12696	6446	3.2	P300,734	P95.0	...	281,827	313,379	103.6	102.0		
	6	P12696	...	...	...	...	...	...	...	...	...	P101.7	
前年同月比	H28. 1	-	1.4	* -0.1	1.0	* 2.5	0.6	-3.1	-0.9	0.0	-0.3		
	2	-	0.5	* 0.1	1.2	* -5.2	P1.9	1.2	-3.4	0.3	0.1		
	3	-	0.3	* -0.1	2.0	* 3.8	P-0.9	-5.3	1.3	-0.1	-0.1		
	4	-	0.9	* 0.0	0.1	* 0.5	P0.2	-0.4	1.2	-0.3	-0.4		
	5	-	0.7	* 0.0	P0.0	*P -2.3	-	-1.1	-3.9	-0.4	-0.5		
	6	-	0.7	* 0.0	P0.0	*P -2.3	-	-1.1	-3.9	-0.4	-0.5		

(注) P：速報値 \*：対前月  
 家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値  
 総人口：2月は平成22年国勢調査を基準とした値、1月及び3月以降は平成27年国勢調査人口速報集計を基準とした値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2016年7月～8月)

### ≪会議及び研修関係等≫

時 期	概 要	時 期	概 要
7月4日	統計研修 統計専門課程「人口推計」開講(～8日)	8月1日	統計研修 特別コース「教育関係者向けセミナー」開講
〃	通信研修 「入門1(7月)」開講(～25日)	2日	通信研修 「入門2(8月)」開講(～23日)
11日	統計研修 統計専門課程「国民・県民経済計算」開講(～15日)	4日	統計研修 統計基本課程「社会・人口統計の基本」開講(～5日)
20日	統計研修 特別コース「明日に役立つ統計セミナー」開講	25日	第100回統計委員会
25日	統計指導者講習会(～26日)	26日	統計研修 特別コース「統計オープンデータ活用」(実践)開講
〃	統計研修 統計専門課程「経済予測」開講(～29日)	31日	統計研修 統計専門課程「人口統計による地域分析」開講(～9月2日)
26日	第99回統計委員会		
27日	ブロック幹事等統計主管課長会議		

### ≪調査結果の公表関係≫

時 期	概 要	時 期	概 要
7月1日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)5月分(速報)公表	8月12日	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)6月分、平成28年(2016年)4～6月期)公表
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)5月分速報)公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年6月分確報、平成28年4～6月期平均確報 ICT関連項目：平成28年4～6月期平均確報)公表
〃	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)5月分、東京都区部：平成28年(2016年)6月分(中旬速報値))公表	中旬	個人企業経済調査(動向編)平成28年4～6月期結果(速報)公表
〃	小売物価統計調査(全国：平成28年5月分(東京都区部：平成28年6月分))公表	22日	人口推計(平成28年3月1日現在確定値及び平成28年8月1日現在概算値)公表
8日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年5月分速報)公表	26日	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)7月分、東京都区部：平成28年(2016年)8月分(中旬速報値))公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年6月分公表	〃	小売物価統計調査(全国：平成28年7月分(東京都区部：平成28年8月分))公表
15日	家計調査(家計消費指数：平成28年(2016年)5月分)公表	29日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)7月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年5月分確報)公表	30日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)7月分(速報)公表
20日	人口推計(平成28年2月1日現在確定値及び平成28年7月1日現在概算値)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)7月分速報)公表
中旬	個人企業経済調査(構造編)平成27年結果公表	31日	サービス産業動向調査(平成28年6月分速報、平成28年4～6月期速報)公表
25日	住民基本台帳人口移動報告(平成28年(2016年)6月分)公表	〃	サービス産業動向調査(平成28年3月分確報、平成28年1～3月期確報)公表
29日	労働力調査(基本集計)平成28年(2016年)6月分(速報)及び平成28年(2016年)4～6月期平均(速報)公表	下旬	個人企業経済調査(動向編)平成28年4～6月期結果(確報)公表
〃	家計調査(二人以上の世帯：平成28年(2016年)6月分速報)公表		
〃	家計調査(貯蓄・負債編：平成28年(2016年)1～3月期平均速報)公表		
〃	消費者物価指数(全国：平成28年(2016年)6月分、東京都区部：平成28年(2016年)7月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(全国：平成28年6月分(東京都区部：平成28年7月分))公表		
〃	サービス産業動向調査(平成28年5月分速報)公表		
〃	サービス産業動向調査(平成28年2月分確報)公表		
8月5日	家計消費状況調査(支出関連項目：平成28年6月分速報、平成28年4～6月期平均速報)公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)平成28年7月分公表		
9日	労働力調査(詳細集計)平成28年(2016年)4～6月期平均(速報)公表		
12日	家計調査(家計収支編：平成28年(2016年)4～6月期平均速報)公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報システム課  
 統計情報企画室 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <http://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。